

第6期 富山県奨学金留学生募集要項

富山県は県内企業の黒田化学株式会社と合同で、本県内の大学院において勉学を行い、修学終了後に黒田化学株式会社へ就職する意思のある留学生を以下のとおり募集する。

1 応募者資格及び条件等

(1) 国籍

ベトナムの国籍を有し、申請時において居住していること。

(2) 年齢

平成9年（西暦1997年）4月2日以降に出生した者。

(3) 学歴

以下のいずれかに該当する者。

① 日本の大学を卒業した者。

② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（令和6年6月末までに修了見込みの者を含む）。

③ 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（県内の大学院において個別に入学資格審査がある場合あり）。

(4) 募集専攻分野

専攻分野：工学関係

大学において専攻した分野又は関連した分野とし、県内の大学院で研究が可能な分野（詳細は5ページ参照）とする。

(5) 健康

心身ともに健康であること。

(6) 日本語能力

不問とする。ただし、日本語の学習意欲があり、卒業時までには日本語の日常会話程度（日本語能力検定N2程度）の習得を目指すこと。

(7) 渡日時期

原則、令和6年9月から10月までの間で知事が指定する日までに渡日可能な者。

(8) 就職の意思

大学院終了後、黒田化学株式会社への就職意思を持って採用試験を受けることを確約できる者。

(9) インターンシップへの参加

修学中に、黒田化学株式会社において実施されるインターンシップに参加すること。

(10) その他

他の奨学金を受給しないこと。

2 募集人員

1人

3 奨学金等

次のとおり、予算の範囲内において、渡日から修学までの期間の費用を負担する。

(1) 奨学金

月額 170,000 円（住居費等含む）。ただし、30 日を超えて日本を離れた場合、大学を休学又は長期に欠席した場合、その期間の奨学金は支給されないことがある。

(2) 旅費

① 渡日旅費

留学生居住地最寄の国際空港から我が国の国際空港間の航空運賃（エコノミークラス）及び我が国に到着した国際空港から富山間の旅費

② 帰国旅費

原則、支給しない。

(3) 授業料等

研究生及び大学院における受験料、入学料、授業料及び保険料等（国民健康保険・傷害保険料等）の実費額。

(4) 支給期間

支給期間は研究生（6ヶ月）から大学院修士課程（2年間）の最長2年6ヶ月とし、延長は認めない。

次の場合には奨学金の支給を取りやめる。

- ① 申請書類に虚偽の記載があることが判明したとき。
- ② 県への誓約事項に違反したとき。
- ③ 日本の法令等に違反したとき。
- ④ 大学において退学等の懲戒処分を受けたとき、あるいは除籍となったとき。（なお、大学等において処分を決定するまでの間、奨学金の支給を止めることもある。）
- ⑤ 学業成績不良や停学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
- ⑥ 入管法別表第一の四に定める「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。
- ⑦ 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く。）の支給を受けたとき。
- ⑧ その他、富山県または黒田化学株式会社が奨学生として相応しくないと判断したとき。

4 応募手続

応募者は以下の書類一式を富山県が指定する宛先、期限までに提出する。提出した書類は、一切返却しない。なお、書類が不備であるもの、提出期限が過ぎたものについては、受理しない。

- ① 留学願書（様式1号）※写真貼付
- ② 専攻分野及び研究計画・配置希望書（様式2号）
- ③ 誓約書（様式第3号）
- ④ 健康診断証明書（様式第4号）
- ⑤ 最終出身大学の成績証明書
- ⑥ 最終出身大学の卒業証明書又は学位取得証明書
- ⑦ 最終出身大学の長又は担任教員の推薦状
- ⑧ 学位論文概要等（論文を執筆している者のみ）
- ⑨ 旅券写し

（注1）これらの書類は日本語又は英語により作成するか、日本語又は英語による訳文を必ず添付すること。

（注2）申請書の写真は、最近6ヶ月以内に撮影したもので、大きさは4.5×3.5cm、上半身・正面・脱帽のこと。また裏面に国籍及び氏名を記入すること。紙媒体のコピーは不可とする。（自分で写真データを印刷して、申請書に貼り付けることは不可。）

（注3）専攻分野及び研究計画・配置希望書は、自身の専攻分野及び研究計画を具体的かつ詳細に記載すること。

（注4）最終出身大学の成績証明書は大学学部、大学院の学年毎に取得した全科目の成績がわかるもので、かつ、その成績が何段階で評価されているのかがわかるものとする。（例えば、学位取得証明書や単に第何位で卒業等の卒業証明書は代用不可。）

（注5）最終出身大学の卒業証明書及び学位取得証明書は、卒業証書及び学位記の写しでも代用可。ただし、その場合は当該出身大学の責任者による確認証明を付すること。

（注6）学位論文の概要等は卒業論文、発表論文等の要約で差し支えないが、学力判定の基礎資料となるので留意すること。

（注7）受入先の県内大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、技術の提供、貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っている。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合があるため、申請にあたっては注意すること。

（第2次選考時に、「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書への署名を求める予定。）

5 留学願書提出方法

郵送により下記まで提出する。

宛名：Jellyfish Education Vietnam

13th Floor, CMC TOWER, 11 Duy Tan, Cau Giay, Hanoi

6 提出期限

令和6年4月26日（金）

7 選考及び結果通知

- (1) 申請書類に基づき第1次選考を行う。
- (2) 合格者について面接による第2次選考を行い、決定する。なお、面接は英語で実施する。ただし、日本語レベルの確認も行う。

8 大学への配置及び大学における研究指導

- (1) 大学配置は専攻分野及び研究計画・配置希望書に記載の第1から第2希望の大学に対して富山県より配置協議を行い、承諾が得られれば当該大学に配置する。ただし、専攻分野及び研究計画・配置希望書に記載した希望順位に添えない場合がある。なお、この決定に対する意義は認めない。
- (2) 大学における講義・実験・実習等の研究指導は原則として日本語で行われる。なお、富山県立大学工学研究科においては、英語（高度実践英語）が必修になっている。
- (3) 大学への問い合わせについては、直接行ってはならない。

9 申請受付後のスケジュール（予定）

- (1) 令和6年3月～5月：書類選考、面接
- (2) 令和6年6月：留学生の決定及び採否通知、入学手続き
- (3) 令和6年7月～8月：入国手続き
- (4) 令和6年9月～10月：来日（研究生として大学院等へ入学）
- (5) 令和6年12月～令和7年2月：修士課程入学試験
- (6) 令和7年4月：修士課程へ進学（修士課程入学試験に合格しなかった場合は、令和7年3月までに帰国。奨学金は合否結果発表の翌月分をもって打ち切る。）留学中は黒田化学株式会社でインターンシップ等を実施
- (7) 令和9年3月：修了
- (8) 令和9年4月：採用試験に合格後、黒田化学株式会社に就職

10 その他

- (1) 奨学金の支給期間中は、知事または黒田化学株式会社の指定する時期に、勉学・研究等の進捗状況、大学の成績等を書面にて報告すること。また、富山県及び黒田化学

株式会社が関与する事業に積極的に協力すること。

(2) この募集要項に定めるもののほか、富山県奨学金留学生制度の実施に必要な事項は、富山県が定める。

(3) この事項に記載してある事項について、不明の箇所、又はこれ以外で疑問があれば、富山県奨学金係に照会し、その指示に従うこと。

E-mail address : admin@jellyfish-vn.com

<受入可能な県内大学の大学院>

富山大学	理工学研究科 ・数理情報学プログラム ・物理学・応用物理学プログラム ・生命・物質化学プログラム ・地球生命環境科学プログラム ・メカトロニクスプログラム ・マテリアル科学工学プログラム ・都市・交通デザイン学プログラム ・先端クリーンエネルギープログラム	ウェブサイト： https://www.gsse.u-toyama.ac.jp/
富山県立大学	工学研究科 (注意) 専攻によって、受け入れ枠がない場合があります。 ・機械システム工学専攻 ・知能ロボット工学専攻 ・電子・情報工学専攻 ・環境・社会基盤工学専攻	https://www.pu-toyama.ac.jp/ ※サイト内に英語版パンフレットあり https://www.pu-toyama.ac.jp/english/eindex.html ※大学院博士前期課程入試において、専攻によっては TOEIC(Official Score Certificate)又は TOEFL(Test Taker Score Report)の提出を求めています。指定していない種類の TOEIC、TOEFL のスコアは受理しないので、学生募集要項 (2024 年 5 月発行予定) にて各自で確認してください。

<留学費用支援企業の概要>

企業名	黒田化学株式会社
所在地	富山県南砺市城端 368
従業員数	325 名
資本金	4,000 万円
業種・事業概要	プラスチック製品の設計・製造
セールスポイント、キャッチフレーズなど	プラスチックで様々なメカを作り新しい価値を生み出すことを、黒田化学では「プラメカニズム」と呼んでいる。既存のプラスチック部品の一体化や軽量化、金属等の他素材からの代替、異素材との複合、組立という手法を用いてプラメカニズムを実現する。
期待する人物像	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な人 ・自ら考え行動できる人 ・リーダーシップが発揮できる人 ・グローバルな視野を持った人
採用後のビジョン(従事することが想定される業務内容・分野)	小矢部工場グローバル技術部で各種製品の生産準備 PJ を担当し、開発リーダーとしてのスキルを養う ベトナム工場の技術部門のマネジメント
採用後の処遇 (令和5年度時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○初任給 216,690円 (令和6年度は226,860円) ○諸手当 語学手当 (TOEIC600点以上、中検3級以上) 家族手当 通勤手当 技能手当 住宅手当 等 ○昇給 年3.0% ○賞与 年4.3ヵ月 ○休日休暇 115日 (令和6年度は116日) ○福利厚生 退職金制度 社内外教育制度 時短勤務制度等
ホームページ	https://www.kuroda-kagaku.co.jp